



北海道根室振興局中標津合同庁舎改築工事 なかしべつ



建築局
建築事業

その先の、道へ。北海道

Hokkaido. Expanding Horizons.

本施設は、中標津合同庁舎(根室農業改良普及センター北根室支所、中標津社会福祉事務所出張所)と、中標津保健所及び釧路建設管理部中標津出張所を集約し、新たな施設を整備するものです。

ゼロカーボン北海道の実現に向け、ZEB化するとともに、構造材の一部に地域材を利用し、木造化しています。

《事業概要》

事業期間：令和6年度～令和7年度
構造規模：鉄筋コンクリート造一部木造 2階建て
延べ面積：1,860㎡



《地域材の積極的な活用》

ホール内観パース



■木造・木質化
根釧地域で産出された原木を加工した構造材及び内装材を利用し、建物の一部を木造化するほか、執務室・ホール等の内装を木質化することで、CO₂削減に寄与し、温かみのある空間を創出

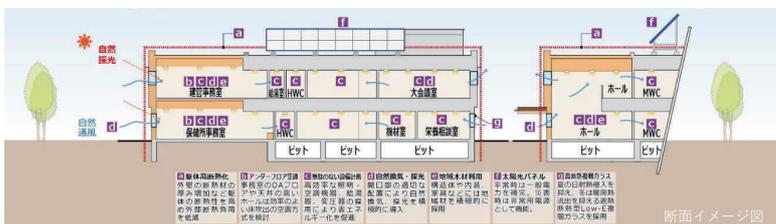
《ゼロカーボンの取組》

■ZEB化(ZEB Ready)

エネルギー消費量を省エネにより約50%削減

創エネにより約8%削減

- ・外壁・屋根・窓の高断熱化
- ・太陽光発電設備の設置
- ・高効率設備機器、LED照明の採用
- ・木造・木質化



北海道庁旧本庁舎(赤れんが庁舎)改修事業

その先の、道へ。北海道



Hokkaido. Expanding Horizons.

赤れんが庁舎は、明治21年に創建され、火災による焼失と復旧、昭和43年の復原改修を経て、国の重要文化財に指定されました。行政庁舎として利用されてきた建物は、昭和60年から一部を除き、一般利用や公開を行っており、近年は年間60万人を超える観光客が訪れていましたが、建物の劣化が進んできたことから、令和元年12月から耐震対策等を含めた改修工事を進めています。この工事は、約50年ぶりの全面的な改修工事であり、北海道の象徴とも言えるこの建物を次世代に確実に継承していくための極めて重要な工事です。



明治21年創建



明治42年全焼



明治44年火災復旧工事



昭和43年復原改修工事

● 主な工事内容

- 保存修理工事
屋根の葺替えや壁の欠損部の修復、内装材の張り替えなど
- 耐震改修工事
れんが壁に鋼材を挿入し補強するなど、建物全体の耐震性を向上
- 公開活用工事
各種設備機器の老朽更新や省エネ化、バリアフリー化など
- 仮設工事
素屋根と呼ばれる仮設の屋根や仮設見学施設を設置

全体スケジュール

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
工程	発注 契約	準備工事			本工事	保存修理工事	
		デザインビルド設計				耐震改修工事	公開活用工事
		解体調査等				仮設工事	
		樹木移植等			素屋根建設	素屋根設置	素屋根解体
					仮設見学施設設置		

● 改修事業の取組

○改修に係る情報発信を行っています。



赤れんが庁舎改修事業
ポータルサイト



Facebook

○赤れんが庁舎改修事業では、現場内照明などのLED化や燃費基準達成型のバックホウの重機使用など取組を行っています。



北海道庁旧本庁舎(赤れんが庁舎)改修事業

その先の、道へ。北海道



Hokkaido. Expanding Horizons.

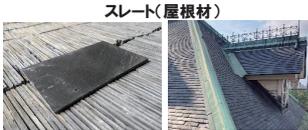
● 令和5年度までに実施した主な工事

1 保存修理工事

赤れんが庁舎には、屋根材のスレートや天井仕上げ材のメタルシーリングなど、明治44年火災復旧時の部材が数多く用いられています。これらの部材は解体して、劣化状況を確認し、再利用可能な部材は、洗浄・塗装を行います。



スレート(屋根材)取り外し



スレート(屋根材)

スレートは、赤れんが庁舎の屋根面に葺いている材で天然の岩石から製作されています。



メタルシーリング(天井仕上げ材)取り外し



メタルシーリング(天井仕上げ材)

メタルシーリングは、金属の板をプレス成型したもので、赤れんが庁舎1階及び2階天井に用いられています。

● 赤れんが庁舎改修事業に係る体験イベントを開催

受注者が主催者となり、赤れんが庁舎改修事業に対する興味を深めることを目的として、赤れんが庁舎に使われている材料に関する体験イベントを行いました。れんが・漆喰・スレートの3種類の材料を題材として全6回開催し、子供からお年寄りまで幅広い世代の方にご参加いただきました。



漆喰塗り体験イベント

2 耐震改修工事

耐震改修は、赤れんが庁舎に与える影響を最小限に抑え、文化的価値の保護に最大限配慮するとともに、将来的なりリニューアル等の更新性を考慮して、煉瓦壁内に挿入した鉄筋で壁を締め付けて補強するプレストレス補強工事を行っています。また、地震時に建物の転倒を防止するため、基礎を地盤に固定するアースアンカーの挿入を行っています。



れんが壁縦穴削孔(プレストレス補強工事の工程)



アースアンカー挿入

3 仮設見学施設の設置

令和5年5月6日より公開をしている仮設見学施設では、地上33mから下ろした八角塔の屋根や、改修工事の様子など「いまだ、ここだけの赤れんが庁舎」が見られ、令和5年10月で約9万人の方が見学されています。なお、令和6年5月上旬まで公開予定です。



仮設見学施設



八角塔屋根



窓越しに改修工事見学可能

耐震改修工事のイメージ

